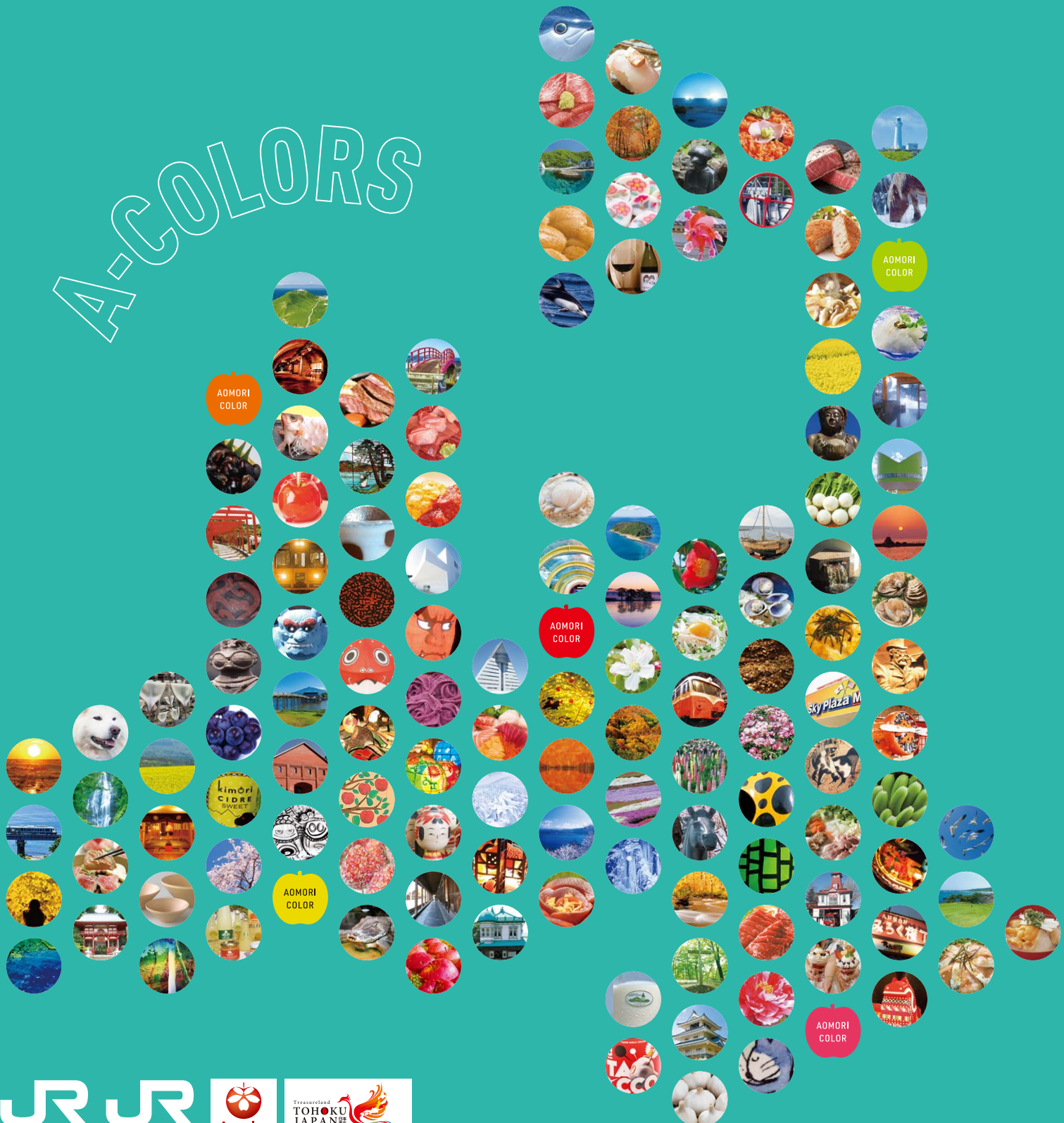


あおもり紀行

Aomori kikou



A-COLORS





A-COLORS

本州最北端にある青森県は、日本海、太平洋、陸奥湾あり、半島や山脈、湖ありのユニークな地形。一つの県でも山や半島を境に、気候や文化が異なります。独特の地形だからこそ育まれたそれぞれのエリアの四季が彩る色、歴史や文化、祭り、食が創り出す鮮やかな色。青森だから出逢える。さまざまな「A-COLORS」をめぐる旅へ。



CONTENTS

03	〈特集①〉A-Red	32	イベント
05	〈特集②〉A-White	34	あomorの温泉
07	〈特集③〉A-Pink	37	観光・交通・お問合せ
09	青森・八甲田・十和田	39	マップ
15	津軽・西海岸	41	世界遺産登録記念緊急特集
23	県南・下北		北海道・北東北の縄文遺跡群

あomor観光 新型コロナ対策推進宣言施設

施設名: _____

- ・従業員の毎日の健康管理とマスク着用、手指消毒を徹底しております。
- ・施設内の定期的な換気、清掃、消毒を徹底しております。
- ・人との適切な距離を確保するための工夫を実施しております。
- ・発熱などの症状のあるお客様には利用の自粛をお願いしております。

「あomor観光新型コロナ対策推進宣言施設」のポスターやステッカーが表示されている施設は、新型コロナウイルス感染症防止対策を自主的に実施している施設です。

必ずお読みください。 ※各施設、イベント等の定休日や開催日、営業時間、料金、内容の詳細などについては、それぞれの連絡先に直接お問合せください。

掲載内容については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの日程が変更、中止となる場合があります。また、営業時間や定休日と異なる場合もありません。詳細については、各主催者、団体までお問合せください。※当ガイドブックに掲載されている情報は2021年10月～2022年5月のものです。2021年8月31日現在、商品内容、料金ほか各種データが変更となったり、時期による変動や臨時休業などで利用できない場合がございます。予めご利用の際にご確認ください。※掲載写真はすべてイメージです。実物と異なる場合があります。※天候、気象条件等により記事・写真のような景色が見られない場合があります。※客室等は一例です。※掲載されている地図の位置や縮尺、所要時間等はおよその目安となるものです。※掲載の各観光施設、店舗等の休業日、営業時間及びイベントの開催日時等は変更になる場合がございます。予め出発前にご確認ください。※実際の営業終了時刻は別に、最終入館時刻、ラストオーダーの時刻が定められている場合もございます。※掲載の電話番号は、各施設のお問合せ用のため、現地の番号と異なる場合があります。カーナビ等での位置検索で実際とは異なる場所を示す場合があります。※掲載の表示金額はすべて税込です。変更になる場合がありますので、掲載施設へご確認ください。※ガイドブックに掲載された内容により生じたトラブルや損害等については、補償いたしませんので、予めご了承ください。

A-Red

青森の自然や文化が織りなす赤は
躍動感あふれる、いのち燃ゆる色。
やがて訪れる冬を前に
その色は輝きを増す。

実りの秋に艶やかに色づく、
鮮やかに燃ゆる、いのちの赤。

つた 鳶沼(十和田市)
鳶温泉(P34)の近くに行む鳶沼。遊歩道が整備され、野鳥観察も楽しめます。
☎0176-74-1233(奥入瀬渓流館)
🚌JR奥羽本線青森駅よりバス約2時間

高山稲荷神社[つがる市]

五穀豊穡・海上安全・商売繁盛の神様としてご利益があるといわれる神社。真っ赤な千本鳥居が圧巻です。

☎0173-56-2015 🚌JR五能線木造駅より車約30分



中野もみじ山(黒石市)

中野神社の境内から続く中野もみじ山は、あたり一面が鮮やかな紅葉で覆われ、中野川の溪流と織り成す自然美は、景勝の地として多くの行楽客に親しまれています。

📍見頃/10月中旬~11月上旬 ☎0172-52-2111(黒石市観光課)
🚌弘南鉄道弘南線黒石駅よりバス約30分



津軽南田温泉(平川市)

源泉かけ流しの湯は美肌の湯として人気です。りんごの香りとともに入浴できる「りんご風呂」などが楽しめます。

【南田温泉ホテルアップルランド】
☎0172-44-3711 🚌弘南鉄道弘南線平賀駅より徒歩約15分



青森が誇る果実。
甘く香る赤。

#りんごあめ



大間まぐろ(大間町)

黒いダイヤと呼ばれる天然本マグロ。漁法は一本釣り延縄漁で、マグロに傷が付かず、魚が弱る前に血抜き活け作業をするため新鮮です。大トロ・中トロ・赤身の3色マグロ丼やお寿司などを本場で味わってください。

☎0175-37-2233(大間町観光協会)
🚌JR大湊線下北駅より車約1時間、または津軽海峡フェリー大間ターミナルより車約10分

北国の短い夏を
染める、情熱の赤。

ねぶたの家 ワ・ラッセ(青森市)

2021年8月末に2年ぶりにねぶたの入れ替えが行われ、新作ねぶたがずらりと展示。毎日3回お囃子演奏もあり、青森ねぶた祭の世界にひたることができる。

☎017-752-1311 🚌JR奥羽本線青森駅より徒歩すぐ



#金魚ねぶた



ONLINE SHOP
お買い求めはコチラ!

温かく照らして
和ませる、ともしびの赤。

奥入瀬ランプ工房

(奥入瀬モスボールパーク内) [十和田市]

ひょうたんランプの専門店。奥入瀬の「苔の造形美」をモチーフに、灯りで「小さな奥入瀬」を表現しています。展示・販売のほか、製作体験もできます。

☎080-2165-7454
📍①JR奥羽本線青森駅よりバス約2時間20分「奥入瀬渓流温泉」下車徒歩約1分
②JR東北新幹線八戸駅よりバス約1時間30分「奥入瀬渓流温泉」下車徒歩約1分
③JR東北新幹線七戸十和田駅より車約50分
※バスはP37みずうみ号、おいらせ号参照



ONLINE SHOP
津軽こけし館でのお買い求めはコチラ!



ONLINE SHOP
お買い求めはコチラ!

1



津軽こけし館

2



3



4



1 津軽こけし館・津軽伝承工芸館(黒石市)

「津軽こけし館」では、こけし作りの実演や全国のこけしの鑑賞、こけし給付体験が楽しめます。隣接する「津軽伝承工芸館」では、津軽塗など伝統工芸の製作体験ができます。

☎0172-54-8181(津軽こけし館)、0172-59-5300(津軽伝承工芸館)
🚌弘南鉄道弘南線黒石駅より車約25分

2 弘前シードル工房kimori(弘前市)

弘前市りんご公園内のシードル工房。りんご農家が作るシードルの醸造見学や試飲(有料)をお楽しみください。

☎0172-88-8936 🚌奥羽本線弘前駅よりバス約20分
※ためのぶ号は約40分(12月~3月まで運休)

3 薬研渓流[むつ市]

ブナやヒバ、カエデなどの広葉樹林と渓流が織り成す美しい景色が広がります。樹齢約800年もの栗の巨木があり、遊歩道も整備されています。

☎0175-34-3500(大畑町観光協会)
🚌JR大湊線下北駅より車約50分

4 弘前れんが倉庫美術館(弘前市)

詳しくはP16参照

A-White

大地と山を包み込み

息を呑むほどの美しさを漂わせる青森の白は

大自然が生み出す、奇跡の色。

八甲田の樹氷【青森市】

樹木が雪と氷で覆われて大きく成長する樹氷は、冬の八甲田を代表する芸術品。ロープウェイから眺める樹氷は感動的です。

☎ 017-738-0343 (八甲田ロープウェイ)
 🚗 JR奥羽本線青森駅より車約1時間20分

▶ 八甲田ロープウェイスキー場・体験はP12参照



厳寒の海に育まれた

恵みの白。

風間浦鮫鱈【風間浦村】

詳しくはP31参照

雪山にそびえる
 自然の芸術、迫力の白。



奈良美智
 《あおもり犬》2005年
 ©Yoshitomo Nara

#Miss Forest / 森の子

青森県立美術館【青森市】

奈良美智、棟方志功など、青森県にゆかりのあるアーティストの作品を常設展示。シャガールのパレ「アレコ」舞台背景画全4作品が勢揃いし一般公開されています。

☎ 017-783-3000
 🚗 JR東北新幹線新青森駅よりバス約10分



純白の中に風土への

思いが宿る、洗練された白。

冬の田んぼアート【田舎館村】

田んぼアートで全国的にも有名な田舎館村の冬季イベントで、夜はライトアップを実施。一步一步踏み固めて雪原に描かれた独創的な作品に驚かされます。

📅 2月11日～13日 ☎ 0172-58-2111 (田舎館村企画観光課)
 🚗 弘南鉄道弘南線田んぼアート駅より徒歩すぐ
 ※イベント期間中のみ臨時停車

奈良美智《Miss Forest / 森の子》
 Photo: ©Yuki Morishima(D-CORD)
 Artwork: ©Yoshitomo Nara

酸ヶ湯温泉【青森市】

湯治と混浴文化が残る広さ160畳の「ヒバ千人風呂」。湯浴み着(売店にて販売)や女性専用時間もあり、女性の方も安心して入浴できます。

☎ 017-738-6400
 🚗 JR奥羽本線青森駅よりバス約1時間10分



凍てつく寒さから
 心と体を包み込む、湯気の白。

冬の奥入瀬氷瀑ナイトツアー【十和田市】

冬にしか見ることができない自然の造形美、氷瀑・氷柱を、同行するライトカーでライトアップし、鑑賞するツアーです。幻想的な冬景色をお楽しみください。

※ライトアップはツアー参加者のみ見ることができます。
 ■期間・時間・料金・乗降場所 / P37参照
 ※天候により、中止となる場合があります。
 ☎ 0176-24-3006 (十和田奥入瀬観光機構)



©十和田奥入瀬観光機構

鶴の舞橋(富士見湖パーク内)【鶴田町】

全長約300mと、木造の三連太鼓橋では日本一の長さ。青森県産ヒバを使用しています。冬には、雪原の中で鶴が翼を広げたような美しい景観となります。

☎ 0173-22-2111 (鶴田町企画観光課)
 🚗 JR五能線陸奥鶴田駅より車約10分



1 アート広場【十和田市】

草間彌生など様々なアーティストの作品を野外展示。芸術作品と身近にふれあえます。

☎ 0176-20-1127 (十和田市現代美術館)
 🚗 JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約35分

2 地吹雪体験【五所川原市】

地面に積もった雪が強く吹き上がる「地吹雪」は津軽特有の自然現象。昔ながらのもんぺ、角巻き、かんじき姿の「正装」で体験します。

📅 1月下旬～2月中旬の土・日曜日 ※要事前予約
 ¥ 大人3,000円、小学生以下500円
 ☎ 080-3195-4036 (津軽地吹雪会)

3 八戸せんべい汁【八戸市】

肉や魚、野菜やキノコのダシ汁に、割った鍋用の南部せんべいを煮込んで食べる郷土料理。程よく煮込んだせんべいの食感はフセになります。

☎ 0178-70-1110 ((一財)VISITはちのへ)
 📍 店舗により異なる
 (最寄駅) JR東北新幹線八戸駅・JR八戸線八戸駅 他

4 ホタテ【陸奥湾沿岸】

日本屈指のホタテの産地・青森県。陸奥湾で育ったホタテは、うまみたっぷり、とろけるような甘さです。

詳細情報はコチラ



詳細情報はコチラ



1 草間彌生
 《愛はとこしえ十和田でうたう》
 撮影 小山田邦哉



A-Pink

青森の春は実に華やか。
心待ちにしていた季節が訪れ
幸せの色が咲き誇る。

#桜のハート



満開の桜に包まれる、
絶景のピンク。

弘前公園(弘前城) [弘前市]
詳しくはP33参照

岩木山麓オオヤマザクラ並木
[弘前市]
岩木山麓の約20kmに、約6,500本の桜並木が連なります。遊歩道も一部整備されています。
📅 見頃 / 4月下旬～5月上旬
☎ 0172-83-3000 (岩木山観光協会)
🚗 JR奥羽本線弘前駅より車約45分



十和田市官庁街通り [十和田市]
詳しくはP33参照

#桜流鎧馬



芦野公園 [五所川原市]
詳しくはP33参照

人と自然が育む、
めしきサーモンピンク。



海峡サーモン [むつ市]

淡水で2年間育てたニジマスに海に移し、秋から春まで養殖された海峡サーモン。津軽海峡の荒波にもまれ、身の締まりも脂のノリも最高です。

☎ 0175-34-2008 (興業研修景公園レストハウス)、0175-23-9114 (アグレアブル)、
ONLINE SHOP / 0175-31-1868 (北彩屋)
📍 店舗により異なる (最寄駅) JR大湊線下北駅



花の美しさを菓子に込めた
伝統のピンク。



べこもち作り体験 [大間町・東通村ほか]

「べこもち」とは下北半島に古くから伝わる郷土料理のひとつ。金太郎餅のように、どこから切っても同じ図柄が現れる美しいお餅です。自分だけのオリジナルべこもちを作ってみませんか。

※要事前予約
📅 通年 ※大間町: 正月・お盆・彼岸を除く、東通村: 要問合せ
📍 要問合せ
📍 大間町: 0175-37-3481 (こすもす生活改善グループ)
東通村: 0175-27-2083 (りらくす mama 東通)
📍 開催団体により異なる (最寄駅) JR大湊線下北駅



長谷ぼたん園 [南部町]

長谷ぼたん園では約130種、約8,000本ものぼたんが大輪の花を咲かせます。環境省「かおり風景100選」にも認定されています。

📅 5月下旬～6月上旬 (予定)
☎ 0178-38-5965 (南部町商工観光課)
🚗 青い森鉄道三戸駅より車約5分

#津軽名物 #ピンクいなり



1



季節を映し、春の喜びを
表現する感性のピンク。



3

1 さくらりきゅる ひとひら [弘前市]
“岩木山麓オオヤマザクラ” (P7) の果実のエキスを抽出してつくった美しく色鮮やかなりきゅるです。
☎ 0172-35-4141 (六花酒造) 📍 JR奥羽本線弘前駅より車約15分

2 津軽びいどろ [青森市]
青森県伝統工芸品で宙吹きやスピン成形等の技法を用いてガラスの粒を混ぜながら手づくりされています。桜や雪、まつりなど様々なテーマで製作されており、まさにアート作品。
☎ 017-782-5183 (北洋硝子) 📍 JR東北新幹線新青森駅より車約10分



3 津軽の桃 [平川市]
津軽地方のりんご農家たちがりんご栽培で培った技術を生かして桃を育て、この地域の特産品となりました。果肉の甘みが深いと評判で、スイーツやドリンクなども多数商品化されています。
☎ 加工品 / 0172-44-3055 (平川市物産協会 / 平川市商工会内) 青果 / 0172-44-8004 (JA津軽みらい平賀青果センター) (最寄駅) 弘南鉄道弘南線平賀駅

